

# 第5学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日（土）3時間目

5年1組

児童数 30名

授業者 木村 明博

- 1 主題名 「誰に対しても思いやりの心を」（内容項目：親切、思いやり B主として人との関わりに関すること）
- 2 資料名 「ノンステップバスでのできごと」（東京書籍 あたらしい どうとく）
- 3 ねらい 相手の立場や気持ちを考えて、温かく親切にしようとする心情を育てる
- 4 授業の流れ

	◆学習活動（○主な発問 ・予想される児童の反応）	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆見知らぬ人に親切にされた経験を思い起こす。</p> <p>○誰かが見ず知らずの人に親切にしているのを、あなたは見たことがありますか。それを見たときどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落としたものを拾ってもらった。</li> <li>・困っているときに優しく教えてもらった。</li> <li>・道を教えてくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切にされたことを思い出す活動を通して、本時に何を考えていくのか、児童自身がめあてを考えられるようにしていく。</li> </ul>
展開	<p>◆「ノンステップバスでのできごと」を読んで話し合う。</p> <p>○3人の高校生の言葉に、和也はどんな思いでうなずいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祖母が待っているので心配だ。</li> <li>・時間がかかってしまうのは困る。</li> <li>・どうして車いすの人は特別扱いなのだろう。</li> </ul> <p>◎車椅子のお兄さんとおじさんの会話をじっと聞いていた和也は自分を振り返って、どのようなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことしか考えていなかった。</li> <li>・勝手だった。</li> <li>・バスは誰もが乗るものということ忘れていた。</li> <li>・車いすの人の気持ちを考えていなかった。</li> <li>・このおじさんのように心温かい人になりたい。</li> </ul> <p>○相手の立場に立って考えられるようにするためには、日ごろからどのような思いで生活する必要があるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気が付いたら行動にうつす。</li> <li>・自分がされたらどうかということを考える。</li> <li>・自分のことだけでなく相手の立場や思いも想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和也」の気持ちを考えることを通して、主題に迫りやすくする。</li> <li>・関係が深くない人を思いやることの難しさについて、高校生の会話を通して押さえられるようにする。</li> <li>・自分の都合、平等、相手の気持ち、見ず知らずの人への親切などに発言を分類して板書し、ねらいとする道徳的価値について理解を深められるようにする。</li> </ul> <p>☆関係の深さによらず、助けが必要な人に親切にするよさについて、場面や対象を広げて振り返ってそのよさを感じることができる。</p>
終末	<p>◆教師の説話を聞き、学習をふり返る。</p> <p>○温かく親切にしようとする心情を育てるために、これから自分はどのように生活していけばよいかを考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの気持ちを実際に行動にしていく大切さを感じることができるようにする。</li> </ul>

# 第5学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日（土）3時間目

5年2組

児童数 31名

授業者 大平 誉

- 1 主題名 「誰に対しても思いやりの心を」(内容項目：親切、思いやり B主として人との関わりに関すること)
- 2 資料名 「ノンステップバスでのできごと」(東京書籍 あたらしい どうとく)
- 3 ねらい 相手の立場や気持ちを考えて、温かく親切にしようとする心情を育てる
- 4 授業の流れ

	◆学習活動（○主な発問 ・予想される児童の反応）	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆見知らぬ人に親切にされた経験を思い起こす。</p> <p>○誰かが見ず知らずの人に親切にしているのを、あなたは見たことがありますか。それを見たときどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電車でおじいちゃんに席を譲っている人を見てすごいな、と思った。</li> <li>・物を落とした時に拾ってくれて声を掛けてくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切にされたことを思い出す活動を通して、本時に何を考えていくのか、児童自身がめあてを考えられるようにしていく。</li> </ul>
展開	<p>◆「ノンステップバスでのできごと」を読んで話し合う。</p> <p>○3人の高校生の言葉に、和也はどんな思いでうなずいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このバスに乗らなければ良かった。</li> <li>・祖母の元へ急いでいきたいのに迷惑だな。</li> <li>・次のバスに乗ってくれないかな。</li> </ul> <p>◎車椅子のお兄さんとおじさんの会話をじっと聞いていた和也は自分を振り返って、どのようなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことしか考えていなかった。</li> <li>・自分勝手な考えだった。</li> <li>・バスは誰もが乗るものということを忘れていた。</li> <li>・自分が考えたことや思ったことが恥ずかしい。</li> </ul> <p>○相手の立場に立って考えられるようにするためには、日ごろからどのような思いで生活する必要があるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲のことを考えた行動ができるようにする。</li> <li>・自分だったらどうするか、ということ常々考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和也」の気持ちを考えることを通して、主題に迫りやすくする。</li> <li>・関係が深くない人を思いやることの難しさについて、高校生の会話を通して押さえられるようにする。</li> <li>・自分の都合、平等、相手の気持ち、見ず知らずの人への親切などに発言を分類して板書し、ねらいとする道徳的価値について理解を深められるようにする。</li> </ul> <p>☆関係の深さによらず、助けが必要な人に親切にするよさについて、場面や対象を広げて振り返ってそのよさを感じることが出来る。</p>
終末	<p>◆教師の説話を聞き、学習をふり返る。</p> <p>○温かく親切にしようとする心情を育てるために、これから自分はどのように生活していけばよいかを考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの気持ちを実際に行動にしていく大切さを感じることが出来るようにする。</li> </ul>